

ババロア～ばあばの語ったフォークロア～

幼き頃 よくせがんでたババロア
洋菓子？ノン、ノン ばあばから聞くフォークロア
そこから教訓、浪漫、 想像力貰い
大きくなり今 贈るこんなsong for grandma

いつでもおぶっちゃ抱っこしてくれたからこそ
自然とお婆あちゃまっ子 捻くれなかった幼少期
「悪い子は 夜分に怖い 鬼に連れてかれるから ええ子でおやすみ。」

おばけの幻想譚 は伝統芸能さ とても明瞭な映像 目の前へ

「めんそーれ妖怪界」
ぬっぺぽう、天井舐め、骨女、手の目、うわん、べとべとさん、etc.

夢にも ベロベロばあ でも屁の河童 ばあばが手取って側にいるし お便所へ同伴
お陰様で おねしょせんと安寧を得、スヤア... 心、身体 健康で育った

戦争での体験の凄愴さ だったり 死と生の観念、先祖霊の話
子供だからと猫へ小判 って留め置かず 全部を言語化 寝耳にそれを傾聴した

まだ おっぱいでいっぱい 液状の心に
砂糖みたいな甘さと 卵黄の様な濃厚な 愛情を注ぎ
髪撫でる 節張った指が掻き混ぜる (こをろ、こをろ)
次から次 語りかける 言葉はゼラチン
個を固め成し 出来た己の心 (オノコロ)

曖昧、不可視 をも いとをかし
昔のあやかし などもう！甘いお菓子
そんな 未だモデレートな柔こさ 持つ頭は ばあば お手製のババロア

満天のエトワールで デコレーションされた空
(twinkle twinkle stars. diamond in the sky.)

ゲコゲコ カエルの演奏が背景音楽 に毎夜勉強会...

セツとヘルンさんのように...